

【新型コロナ】新変異株「ストラタス」急拡大。“ただの風邪”症状と軽視危険！米感染例の7割を占める猛威 12/31 ウーマンズヘルス



現在、新たな新型コロナウイルスの変異株「XFG（通称ストラタス）」が世界的に感染を拡大させている。この変異株は2025年の夏頃から広まり始め、現在では感染例の約70%を占めるまでになった。ウイルスが進化するにつれ、私たちが注意すべきサインも変化している。2025年、最新の新型コロナの症状を解説する。

一部では「ただの風邪のようなもの」と軽視する声もあるが、

新型コロナウイルスは依然として命に関わる病気であり、特定のグループにとっては重症化のリスクが極めて高い。しかし、多くの人が経験しているのは、かつての新型コロナとは少し異なる“不快な症状”を伴う体調不良だ。ヴァンダービルト大学医学部の感染症専門医、ウィリアム・シャフナー医学博士は、ウイルスへの反応は人によって千差万別であると強調する。「現在、多くの感染例は軽症化していますが、依然として入院を余儀なくされる人々もいます」

＜専門家の紹介＞トーマス・ルッソ医学博士：ニューヨーク州バッファロー大学教授兼感染症科長。ウィリアム・シャフナー医学博士：ヴァンダービルト大学医学部教授。感染症のスペシャリスト。

※この記事は『Prevention』の翻訳をもとに、ウーマンズヘルス日本版が編集して掲載しています。

新変異株で現れやすい主要症状は？

ニューヨーク州バッファロー大学の感染症科長であるトーマス・ルッソ医学博士によれば、重症化のリスクが低いグループであっても「深刻な事態を完全に避けられるとは限らない」という。では、今最も警戒すべき症状とは何だろうか。ルッソ博士は、個人の免疫状態や暴露したウイルスの量、年齢や基礎疾患の有無によって症状は異なると前置きした上で、現在多くの患者に見られる共通の症状として以下の3つを挙げている。

喉の痛み / 鼻づまり / 鼻水

運よく軽症で済んだ場合、これらの症状によって「ひどい風邪」を引いたような感覚に陥ることが多い。

アメリカで感染が拡大している地域は？

アメリカ疾病予防管理センター（CDC）の下水サーベイランスデータによると、2025年12月現在、以下の州で新型コロナウイルスの検出レベルが高くなっている。これら以外の多くの州でも中程度のレベルで推移しており、年末年始の休暇シーズンを控えてさらなる拡大が懸念されている。

アラバマ州 / アリゾナ州 / インディアナ州 / バーモント州

新型コロナの適切な感染予防策とは

医師たちは、最新の新型コロナワクチンの接種を推奨している。「人混みや集まりに参加する際は、特にリスクの高い人はマスクの着用を検討してください」とシャフナー博士は言う。また、少しでも体調に異変を感じたら、市販の検査キットで確認することも重要だ。

